

あかふじ ニュース

第 15 号

発行 平成31年4月

山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》

<http://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》

<http://bosai.pref.yamanashi.jp>

山梨県消防防災航空隊

〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1

T E L 0551-20-3601

F A X 0551-20-3603

E-mail: bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・平成30年度緊急運航実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・新あかふじJA223Yについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～4
- ・初代あかふじJA6748退役について・・・・・・・・・・ 5～6
- ・他県防災航空隊視察研修について・・・・・・・・・・ 7
- ・埼玉県防災航空隊進出訓練について・・・・・・・・・・ 8
- ・平成30年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練について・・・ 9
- ・合同訓練等実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～16
- ・退任隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17・18

平成30年度緊急運航実績

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		救助	救助件数	6	5	10	1	3	1	4	7	5	3	2	6
救助人員	7		8	8	1	5	1	5	5	4	3		5	52	
救急	救急件数	5	4	7	1	3		3	5	3	2		5	38	
	搬送人員	5	4	7	1	3		3	5	3	2		5	38	
火災	災害件数	1				1					3	4	3	12	
	飛行回数	3				2					3	5	7	20	
災害応 急対策	災害件数														
	飛行回数														
件数小計		12	9	17	2	7	1	7	12	8	8	6	14	103	
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数	1	4					1	5	1		1	1	14
		救助人員	2	4					2	4	1		2	2	17
	救急	救急件数	1	3					1	3	1		1	1	11
		搬送人員	1	3					1	3	1		1	1	11
	火災	災害件数	3								1	3			7
		飛行回数	10								2	8			20
	その他	災害件数													
		飛行回数													
	件数小計		5	7					2	8	3	3	2	2	32
	緊急運航並びに相互応援協定・広域航空消防応援・緊急消防援助隊の合計件数														135

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で135件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて67件あり、県内活動が53件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が14件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が51%を占め、救急活動は37%、火災防衛活動は12%、また、県外への応援活動は24%あり、埼玉県、長野県、群馬県への応援活動でした。

新あかふじJA223Y

機体更新に伴い、平成30年7月25日に新あかふじJA223Yが運航開始（緊急運航開始日は平成30年8月29日）となりました。シコルスキー社製S-76D（新機体）は山梨県消防防災航空隊として2代目の機体となります。

○基本性能等

機体	全長	15.97 m
	胴体長	13.22 m
	全幅	3.05 m
	全高	4.41 m
	ローター径	13.43 m
客室	長さ	2.41 m
	幅	1.93 m
	高さ	1.37 m
	床面積	4.50 m ²
	容積	5.78 m ³

重量	最大離陸重量	5,386 kg
	空虚重量	3,576 kg
	有効積載重量	1,810 kg
燃料	標準搭載量	1,057 ℓ
エンジン	型式	Pratt&Whitney PW210S×2基
	AEOでの最大出力	2,154 SHP
	OEIでの最大出力(30秒)	1,123 SHP
トランス ミッション	最大離陸出力	1,605 SHP
	最大連続出力	1,605 SHP



あかふじ機体性能比較表

型 式		S-76D (新)	S-76B (初代)	備 考
				
寸 法	機体全長	15.97m	16.00m	▼3cm
	全高	4.41m	4.41m	
	胴体幅	3.05m	3.05m	
主回転翼直径 (枚数)		13.43m (4枚)	13.41m (4枚)	△2cm
座 席	操縦席	2	2	
	客室座席	12	13	▼1脚
最大離陸重量		5,386kg	5,307kg	△79kg
最大巡航速度		285km/h	268km/h	△17km/h
燃料タンク容量		1,132ℓ	1,084ℓ	△48ℓ
機外吊下げ重量		1,496kg	1,500kg	▼4kg
救助ホイスト		グットリッジ電動	グットリッジ電動	
ケーブル長		76m	90m	▼14m



○新機体の特徴

- 完全複合素材・新翼形
メインローターブレード
- 低騒音型テールローター
- PW210S新型エンジン
(高出力、低燃費)



- フルデジタルコックピット化
パイロット負担が減り、安全性
が向上

- 窓の拡大
視野拡大により安全性が向上



- 防振カメラ
可視光と赤外線両方の撮
影機能を持ち、ヘリコプ
ターからの映像を地上に
送信することが可能

初代あかふじJA6748退役

23年間お疲れ様でした。

そして・・・ありがとう。



初代あかふじの主な歴史

【平成7年】

- 7月 初出動、農鳥岳付近において男性1人を救助
- 11月 富士山で初救助活動

【平成9年】

- 3月 群馬県安中市御岳山の林野火災に伴う消火活動
- 3月 甲州市勝沼町高尾山の林野火災に伴う消火活動

【平成11年】

- 9月 南アルプス市芦安地内の野呂川の増水で取り残された3人を救助

【平成12年】

- 3月 大月市林宝山の林野火災に伴う消火活動

【平成16年】

- 7月 新潟・福島集中豪雨に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動
- 10月 新潟県中越地震に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動

【平成17年】

- 12月 大月市笹子町地内の林野火災に伴う消火活動

【平成19年】

- 7月 新潟県中越沖地震に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動

【平成20年】

- 6月 岩手・宮城内陸地震に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動
- 12月 甲府市・笛吹市にまたがる大蔵経寺山で発生した林野火災に伴う消火活動

【平成21年】

- 4月 甲州市勝沼町棚横手山で発生した林野火災に伴う消火活動
- 8月 駿河湾地震に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動

【平成23年】

- 3月 東日本大震災に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動
- 8月 北杜市大泉町の川俣川渓谷で水位が増水、中州に残された6人を救助
- 9月 台風15号の影響で南部町と早川町で住民が孤立したことに伴い災害応急対策活動（物資輸送、人員搬送を実施）
- 10月 山梨県内で初めて臓器移植法に基づく臓器輸送を実施

【平成24年】

- 12月 中央自動車道笹子トンネル内天井板崩落事故による上空偵察、ヘリTV送信活動を実施

【平成25年】

- 5月 甲府市、韮崎市において同時に発生した林野火災に伴う消火活動

【平成26年】

- 2月 豪雪災害により災害対策本部設置、総務省消防庁に広域航空消防応援要請
- 4月 群馬県桐生市で発生した林野火災に伴い広域航空消防応援出動
- 11月 長野県神域断層地震に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動

【平成27年】

- 9月 平成27年9月関東・東北豪雨に伴い緊急消防援助隊航空小隊として出動

【平成29年】

- 3月 長野県消防防災ヘリコプター墜落事故に伴い広域航空消防応援出動
- 12月 上野原市丸山山頂付近の林野火災に伴う消火活動

【平成30年】

- 4月 韮崎市穂坂町三之蔵山林の林野火災に伴う広域航空消防応援要請



「初代あかふじJA6748」は平成7年4月26日～平成30年7月10日までの23年間山梨県消防防災ヘリコプターとして従事し、総飛行時間6585時間、総出動件数2464件をもって退役することとなりました。退役当日には退役式が行われました。

他県防災航空隊視察研修

宮城県防災航空隊・仙台市消防航空隊及び茨城県防災航空隊への視察研修を実施しました。大規模災害時における連携強化、消防防災ヘリコプターの効果的な運用及び安全管理体制の一層の充実を図ることを目的とし、施設見学、資器材説明、実機訓練参加、意見交換等を行い、非常に有意義な視察研修となりました。

宮城県防災航空隊・仙台市消防航空隊



茨城県防災航空隊



埼玉県防災航空隊進出訓練



平成30年11月14日、相互応援協定締結県である埼玉県への災害応援活動を想定し飛行経路確認及び合同訓練を実施しました。訓練を通じて相互の資器材及び活動手技等の違いを確認する事ができ、今後の活動において参考となりました。また、「顔の見える関係」を構築することもでき、非常に有意義な訓練となりました。



平成30年度 緊急消防援助隊

関東ブロック合同訓練

神奈川県内での地震に起因する大規模災害を想定し、緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱及び緊急消防援助隊の運用に関する要綱に基づく、実践的な訓練が神奈川県で行われ、当県消防防災航空隊も緊急消防援助隊航空小隊として訓練に参加しました。

《訓練日》

平成30年11月30日（火）

《訓練参加航空小隊》

消防防災ヘリ 茨城県、栃木県、埼玉県、千葉市、東京消防庁、長野県、静岡県、静岡市
浜松市、川崎市、山梨県
航空支援 栃木県（ヘリベース）、長野県、浜松市（フォワードベース）
長野県（空中消火訓練給水場所）
関係機関 神奈川県ドクターヘリ、神奈川県警察航空隊、陸上自衛隊



合同訓練等実施内容

・山梨県水防訓練

(平成30年5月27日：北杜市武川町)

大武川河川敷で実施された山梨県水防訓練において、河川増水により中州に2名の要救助者が取り残されているとの想定で、救出救助訓練を実施しました。



・埼玉県防災航空隊視察研修

(平成30年6月1日：当航空隊基地)

埼玉県防災航空隊が視察研修のため来隊しました。救助事案に係る意見交換や当航空隊格納庫において資器材・機体等の見学を行い、相互の活動について理解を深めました。



・消防職員特別教育山岳救助研修

(平成30年9月10日：山梨県消防学校)

消防職員特別教育山岳救助研修入校者を対象に、山岳救助時、地上活動隊と航空隊の連携活動をスムーズに行うため、航空隊の任務、安全管理、現場活動などを中心に講義を行いました。



・都留市、大月市、上野原市 消防本部合同訓練

(平成30年10月3日：上野原市)

大規模災害時等における、協力体制と効率的な連携活動の向上を図ることを目的に東部3市消防本部との合同訓練に参加しました。



• 航空祭

(平成30年10月6日・7日：
日本航空学園山梨キャンパス)

日本航空学園山梨キャンパスで行われた航空祭に参加しました。多くの観覧者が見守る中、救出救助訓練を展示し、航空隊の活動をPRすることができました。



• 防災局合同訓練

(平成30年10月15日・17日・23日
3日間：清哲訓練場)

防災局職員が航空隊の救出救助訓練に参加することにより、同職員の航空消防防災活動に対する理解を深めるとともに、山梨県の防災体制の更なる充実強化を図ることを目的に訓練を実施しました。



• 消防職員初任総合教育訓練

(平成30年10月12日：
消防学校及び敷島総合運動公園)

消防職員初任総合教育学生を対象に、午前は消防学校において講義、各種活動資器材等の説明、午後は敷島総合運動公園でヘリ誘導要領訓練、訓練展示、機体説明を行いました。



• 山梨県防災新館 屋上HP離着陸訓練

(平成30年10月25日：山梨県庁防災新館)

大規模災害発生時には、「あかふじ」に県災害対策本部を統括する幹部職員が搭乗し、被災状況を把握するとともに、効果的な活動調整を図るため、山梨県の防災拠点である防災新館屋上HPにおいて、離着陸訓練及び進入離脱経路の確認を実施しました。



・甲府地区消防本部合同訓練

(平成30年11月8日：島上条公園)

秋の火災予防運動に伴う総合防災訓練に参加し、災害発生時の初動態勢として、被害状況把握のため上空偵察訓練及び傷病者搬送訓練を実施しました。



・県民の日記念行事

(平成30年11月10日・11日：

小瀬スポーツ公園補助競技場)

小瀬スポーツ公園において行われた、県民の日記念行事に参加しました。「あかふじ」は、機体展示及び救出救助訓練展示を実施しました。



・山梨県地震防災訓練

(平成30年11月11日：

山梨県防災新館屋上HP及び富士吉田市立病院)

防災関係機関と地域住民が相互に連携し総合訓練を実施することにより、県民全体の防災意識の高揚を図り、地域防災力の向上を図ることを目的として、山梨県地震防災訓練が実施され、人員搬送訓練及びヘリテレ訓練を実施しました。



・笛吹市消防本部合同訓練

(平成30年11月17日：笛吹川河川敷)

大規模な林野火災を想定し、消防団との連携活動の強化及び地域住民の防火防災に対する意識の高揚を図ることを目的に、消防団とのポンプ給散水訓練及び機体展示を実施しました。



・長野県危機管理部合同訓練

(平成30年11月27日：北杜市白州町)

長野県が保有するヘリテレ小型受信装置を使用した訓練を行い、大規模災害時における連携及び通信等を円滑に実施することを目的として実施しました。



・東山梨消防本部合同訓練

(平成30年12月3日・4日：

東山梨消防本部訓練場)

各種災害における要救助者に対する迅速な救命医療対応を想定し、救助救急現場等からのピックアップ、航空隊及び消防本部の円滑な連携活動を確立することを目的に訓練を実施しました。



・富士五湖消防本部合同訓練

(平成30年11月28日：富士北麓公園)

特殊災害を想定し、上空偵察及び救急搬送訓練を実施しました。他機関と連携した訓練を実施でき、有意義な訓練となりました。



・甲府地区消防本部合同訓練

(平成30年12月5日・6日：

当航空隊基地及び敷島総合運動公園)

当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、後日、敷島総合運動公園において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



• 峡南消防本部合同訓練

(平成30年12月10日・11日：
当航空隊基地及び清哲訓練場)

当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、同日、清哲訓練場において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



• 山梨県立中央病院合同訓練

(平成30年12月20日：韮崎滑空場)

県内で発生する災害に迅速な対応を図るため、医師及び看護師が「あかふじ」に搭乗するとともに、現場等から医師をピックアップすることも予測されることから、相互の円滑な連携活動を確認することを目的に訓練を実施しました。



• 静岡県消防防災航空隊合同訓練

(平成30年12月17日・18日：
当航空隊基地及び清哲訓練場)

静岡県消防防災航空隊が視察研修のため来隊しました。当航空隊格納庫において駐機訓練展示、資器材説明及び清哲訓練場において救出救助訓練を実施し、相互の活動について理解を深めました。



• 横浜市消防局航空隊合同訓練

(平成31年1月17日：清哲訓練場)

横浜市消防局が合同訓練のため来隊しました。清哲訓練場において救出救助訓練を実施し、相互の活動について理解を深めました。



• **山梨県高速道路
消防救急連絡協議会合同訓練**

(平成31年1月21日：南巨摩郡上空)

高速道路内の多重衝突事故を想定し、地上消防隊との連携を円滑に実施できるよう技術の向上を図ることを目的として上空偵察訓練、ヘリテレ訓練を実施しました。



• **埼玉県防災航空隊受援訓練**

(平成31年1月28日：

埼玉県防災航空隊基地)

埼玉県内での大規模災害の発生を想定し、ヘリベースを拠点とした実践的な訓練を実施することで、関係機関との連携強化及び受援時のヘリベース運用について理解を深めることができました。



• **南アルプス市消防本部合同訓練**

(平成31年1月28日・30日：

櫛形総合公園芝生広場)

当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、後日、櫛形総合公園芝生広場において実機による隊員投入訓練及び機体展示を実施しました。



• **航空隊業務経験者研修会**

(平成31年2月7日・8日：当航空隊基地)

当航空隊基地において、航空隊業務経験者によるヘリベース等各活動拠点における航空隊消防防災活動支援及び運用調整等を円滑に実施することを目的に研修会を実施しました。



• 笛吹市消防本部合同訓練

(平成31年2月27日:

当航空隊基地及び清哲訓練場)

当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、同日、清哲訓練場において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



• 大月市消防本部合同訓練

(平成31年3月6日:

当航空隊基地及び清哲訓練場)

当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、同日、清哲訓練場において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



退任隊員紹介

副隊長 石原 大

(笛吹市消防本部)

救助活動	94件
救急活動	5件
火災防御	24件
その他	4件
出動合計	127件
救助人員	102名



隊員 向山 伸一

(都留市消防本部)

救助活動	86件
救急活動	4件
火災防御	25件
その他	3件
出動合計	118件
救助人員	83名

隊員 小林 健太

(甲府地区消防本部)

救助活動	82件
救急活動	2件
火災防御	19件
その他	2件
出動合計	105件
救助人員	91名





隊員 小林 健太

副隊長 石原 大

隊員 向山 伸一

平成31年3月31日付けをもちまして3年間の任期を終え、派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰任後も、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副隊長 石原 大

隊員 向山 伸一

隊員 小林 健太

YAMANASHI

あかふじ

AIR RESCUE

